

第33回微粒化シンポジウム

Thirty-Third Symposium (ILASS-Japan) on Atomization

日本液体微粒化学会
第33回 微粒化シンポジウム実行委員会
委員長 尾形 陽一

主催 日本液体微粒化学会 (ILASS-Japan)・日本エネルギー学会

協賛 ILASS-Korea, エネルギー・資源学会, 応用物理学会, 化学工学会, 可視化情報学会, 自動車技術会, 静電気学会, 石油学会, 日本画像学会, 日本ウォータージェット学会, 日本エアロゾル学会, 日本化学会, 日本ガスタービン学会, 日本機械学会, 日本原子力学会, 日本工業炉協会, 日本航空宇宙学会, 日本混相流学会, 日本耳鼻咽喉科学会, 日本伝熱学会, 日本塗装技術協会, 日本塗装工業会, 日本燃焼学会, 日本農作業学会, 日本バーナ研究会, 日本マリンエンジニアリング学会, 日本薬学会, 日本流体力学会, 農業食料工学会, 農業施設学会, 農業農村工学会, 粉体工学会, 粉体粉末冶金協会 (依頼中を含む)

1. 開催趣旨 微粒化技術は、エネルギー機器・粉体製造・医薬・農薬・食品・塗装・環境制御など、広く利用されているためその重要性はますます高まっています。本シンポジウムは、多方面からの研究者・技術者が集まり、研究成果や研究開発中に生じた問題点や解決策の報告をとおして、産官学が一体となって微粒化技術の新しい展開を図ることを目的としています。

2. 開催要領 日程：2024年12月17日（火）－18日（水）

場所：広島国際会議場

(〒730-0811 広島県広島市中区中島町1丁目5 (平和記念公園内))

詳細は <https://www.pcf.city.hiroshima.jp/icch/index.html> をご参照下さい。

3. 内容 一般講演、特別講演、技術懇談会および微粒化関連の機器展示とカタログ展示等を企画しております。

一般講演： ◆ 噴霧燃焼, 噴霧冷却, 表面処理等の工業技術における微粒化
◆ コロイド, エマルジョン等の化学工業における微粒化
◆ 液体の分裂機構, 噴霧の挙動, 二相流等の流体力学的解明と微粒化
◆ 液滴の蒸発・混合気形成過程, 混相流, マイクロバブル
◆ その他微粒化関連分野

研究や開発の成果を公表するもの, 研究や開発途中の新事実や問題点を指摘するもの, 資料や事例なども含みます。

原稿枚数：A4原稿1～8頁

なお、講演の採否は学会にご一任下さい。

4. 表彰 学生および若手研究者の優れた講演を審査のうえ表彰します。

- ◆ 優秀講演賞：学生講演者を対象に優秀講演賞を授賞します。
- ◆ 日本エネルギー学会奨励賞：講演時に35歳以下の方は日本エネルギー学会奨励賞候補者の推薦対象になります。（推薦時に日本エネルギー学会の会員であること。）

5. 講演申込方法（申込受付開始は6月中を予定しています。）

- (1) 講演申込締切：2024年8月30日（金）までに Web サイト (<http://www.ilass-japan.gr.jp>) からお申込ください。
- (2) 論文原稿締切：2024年10月21日（月）までに、執筆要領にしたがって作成した原稿の PDF ファイルを、講演申込後に連絡いたします指示にしたがいご提出ください。原稿フォーマットは Web サイト (<http://www.ilass-japan.gr.jp>) よりダウンロードしてご使用下さい。なお、原稿はシンポジウムの講演論文集に掲載されるだけでなく、その一部が日本液体微粒化学会発行の学会誌「微粒化」に掲載されるシンポジウム報告等の記事に転載されることがあります。

—講演論文担当事務局—
〒731-5193 広島県広島市佐伯区三宅 2-1-1
広島工業大学工学部 知能機械工学科
「第33回微粒化シンポジウム」講演論文担当幹事 八房 智顕
TEL 082-921-4537 : E-mail : t.yatsufusa.nr@cc.it-hiroshima.ac.jp

(3) 講演方法について

講演時間は25分（発表15分，討論10分）を予定しています。講演会場には液晶プロジェクターを用意しますので、講演者はノートパソコンをご持参いただきますようお願いいたします。

6. 参加申込方法 シンポジウム参加要領は以下のとおりです。（講演者も参加申込が必要です。）

（参加申込みの Web サイトからのお申込み受付開始は6月中を予定しています。）

- (1) 参加費： シンポジウム参加費には講演論文集代を含みます。技術懇談会は12月17日の講演終了後に開催されます。なお、協賛学協会の会員の方々は「会員」の資格で参加できます。

シンポジウム参加費	会 員 事前申込	6,000円（不課税，申込期限後 9,000円）
	非会員 事前申込	11,000円（課税，申込期限後 14,000円）
	学生会員 事前申込	3,000円（不課税，申込期限後 4,000円）
	学生非会員 事前申込	3,300円（課税，申込期限後 4,400円）
技術懇談会参加費	一 般 事前申込	6,000円（課税，申込期限後 9,000円）
	学 生 事前申込	1,000円（課税，申込期限後 2,000円）

※非会員の方はこの機に是非ご入会下さい。（年会費：[正員:3000円，学生員:1000円]，入会金：なし）入会方法については <http://www.ilass-japan.gr.jp/> をご参照下さい。シンポジウム会場でもご入会を受け付けております。

- (2) 事前申込方法：2024年12月2日（月）までに、Web サイト (<http://www.ilass-japan.gr.jp>) からお申し込みのうえ、Paypal を通じて参加費の合計額をお振り込み下さい。Web サイトからの申込のみでお振り込みが無い場合には、当日、申込期限後の金額をいただきます。

—参加担当事務局—
〒739-8511 広島県東広島市鏡山 1-3-2
広島大学大学院先進理工系科学研究科 機械工学プログラム
「第33回微粒化シンポジウム」参加担当幹事 尾形 陽一
TEL 082-424-7555 : E-mail : yogata@hiroshima-u.ac.jp

7. 実行委員会

委員長・参加/会場担当	尾形 陽一（広島大学）
副委員長・講演プログラム/講演論文担当	八房 智顕（広島工業大学）
幹事・財務担当	小橋 好充（岡山大学）
幹事・広報担当	大嶋 元啓（富山県立大学）
幹事・表彰担当	井上 智博（九州大学）
幹事・機器展示依頼担当	駒田 佳介（福岡工業大学）
委員	松村 恵理子（同志社大学）